

区民説明会の実施結果について

1. 区民説明会の概要

(1) 実施目的

江東区長期計画の策定にあたり、長期計画（分野別計画）〈素案〉を区民の方々へ提示・説明し、内容について理解していただくとともに、直接意見を伺うことで計画の内容をより良いものとする。

(2) 日程・会場

日程	会場	参加者数
7月16日(火)	総合区民センター（6階 サブ・レクホール）	10名
7月18日(木)	豊洲文化センター（8階 第6研修室）	2名
7月20日(土)	江東区文化センター（6階 第1～3会議室）	13名
7月23日(火)	森下文化センター（3階 第1研修室）	10名
7月26日(金)	砂町文化センター（2階 第1会議室）	5名

(3) 説明会次第

- ① 企画課長あいさつ
- ② 分野別計画（原案）の説明
- ③ 質疑応答
- ④ 事務連絡（アンケート協力依頼など）

(4) 参加者への配布資料

- ① 説明会次第
- ② 長期計画（分野別計画）〈素案〉
- ③ 区報パブコメ特集号
- ④ 区民説明会アンケート

2. 説明会で挙げられた主なご意見・ご要望

(1) 計画全体について

ご意見・ご要望内容
計画を事前に読んできたが、量が膨大である。多内容の要約や施策の重要度の可視化が必要ではないか。
各論が独立しており、項目ごとの連携性が必要ではないか。
学校の通知表と同様、区の長期計画も評価することが必要。策定後は、定期的に計画の達成度を測り、区報に載せてはどうか。
利害関係者は多岐に渡ってくると思うが、長期的な計画では誰を対象としていて、誰に評価されることを目的としているのか。
地域の課題や特性に応じた計画づくりが必要である。

(2) 区のイメージ向上と維持について

ご意見・ご要望内容
江東区のイメージは良くなってきている。オリンピックの施設も増えてきた。これを機に、江東区について発信し続け、イメージを上げることで住民が増え税収も上がると考える。江東区は、オリンピックのレガシーを利用し今後どういった広報戦略をするのか。

(3) SDGsについて

ご意見・ご要望内容
SDGsとも関連性があると見受けられるが、SDGsも取り上げるべきではないか。
自治体でも数十団体で国の選定を受けSDGsの取組を推進している。江東区においても、区民と行政、事業者がSDGsの取組を江東区として宣言して、各施策をSDGsの17の目標と対応させてはどうか。

(4) 親水施策について

ご意見・ご要望内容
23区内で公園面積は2番であるとのことだが、河川も含めると江東区は1番になる。にぎわう場を作るにあたって、水辺に親しむ具体的な取組があったほうが良い。
都の治水施策により、工事などが多く、利便性が悪い。また都の説明会にも参加したが、親水の観点は持っていないように感じる。江東区からも都に対して、安全重視だけでなく、親水の方向性や具体的な施策を示し、主張してほしい。
水路の水質浄化の取組は織り込まれていないのか。

(5) 環境保全について

ご意見・ご要望内容
地球温暖化対策として、ゴミの分別が勧奨されているが、私たちは消費者側であり、物を買ってきて「プラ」等のマークを見て分別する。しかし、商品によってはこの表示が小さい。高齢化が進む現実があり、マーク自体が見えないと思う。販売者側の環境意識が足りていないと感じてしまう。売り手にも働きかけてもらいたい。

(6) 子育てについて

ご意見・ご要望内容
待機児童対策が区では課題となっている。年々保育所を増設しても、待機児童が発生している状況である。その一方で、自宅で、自分で育児を行う家庭も存在する。そのような家庭に対して、補助を行うことで、保育所に入所しなくてよい人も出てくるのではないか。
保育園は増えたが質が伴っていない。砂町商店街に保育園があり、災害が起きたら危険。どういうまちづくり、保育園づくりがいいのか真剣に考えてほしい。
地域の人が子育てを支援するようなコミュニティづくり、人材育成が必要である。

(7) 教育について

ご意見・ご要望内容
学校でのいじめや、子供を殺してしまう親などが社会問題となっている。学校も家庭も行き詰まっており、このような問題をどこが解決するか、対策を検討してほしい。行政の支援センター等に行っても解決しないといった事案もあり、江東区の方でこのような問題に対応しているか不信感もある。
2016年制定の教育機会確保法でも、学校以外の教育の機会を確保することが国や自治体の責務とされており、学校復帰だけが子どもへの支援ではなくなっている。江東区としてどのような支援をしているか知りたい。世田谷区では「希望が丘」という官民一体のフリースクールができている。
不登校になった子どもがチャレンジできる施設が東京都の施設としてはあるが、このような学校外で教育できる場所が江東区に一つあっても良いと思う。
どの学校にも一定数外国人児童が存在する。そのような児童生徒は、高校受験で日本語の能力がネックとなり、大変苦勞していると聞いている。外国人が成人して働く際に、満足な教育を受けていないと社会への適応が難しくなる。また、外国人児童生徒は一時的な滞在者ではなく、永住者として日本に留まるケースが多い。彼らの教育についてどのようなフォローをするのか検討が必要である。現在、ボランティアでこの課題に取り組む団体が存在するが、人が足りていない状況にある。
こどもが生の文化に触れる場が必要。デジタル文化では心が育たない。

(8) 産業・商業振興について

ご意見・ご要望内容
砂町商店街には空き店舗が増えているが解決策が見いだせていない。
キャッシュレス化の取組を教えてください。

(9) 町会・自治会について

ご意見・ご要望内容
町会・自治会の加入率が低く、対策を強化する必要がある。特にマンションでは加入率の低さが課題となっている。町会・自治会への加入が強制でなくなったため、新しく建てられたマンションでは加入しない人が多く発生している。また、町会・自治会に参加せず会費を支払っていないのにも関わらず、町会・自治会の主催する地域のイベントには参加するなど、サービスを楽しむだけの人も存在する。マンションが建てられた際に、行政から加入の案内を行うなど、取組を検討してほしい。
町会・自治会に加入する意義は区民に十分周知されているのか。
今は町会・自治会が地域の代表ではなくなってきており、町会・自治会の再構成も視野に入れつつ、地域の拠点を整備することが必要となる。地域の拠点づくりにあたっては、現在の町会・自治会の会館の老朽化が進んでいるため、改修が必要である。そのようなハード面の取組も含め、地域の人を巻き込む施策を検討してほしい。

(10) 高齢者の社会参加について

ご意見・ご要望内容
区内に元気な高齢者は多く存在する。活躍できる高齢者を単に福祉の対象とするのではなく、自由大学のような形式で、社会人OBに対し再教育を施す「社会貢献大学」を設置してはどうか。その教育施設を通じて、社会人OBが子育てや外国人住民へのサポートなど、様々な地域のボランティアとして活躍できる仕組みが必要である。また、そのような仕組みを作ることで、参加する高齢者は精神的・肉体的な健康を維持することができ、支援を受けた人も感謝する循環が生まれる。
社協の高齢者関係のボランティア講座に参加しているが、参加後は個人の活動になってしまう。各地域の高齢者施設等のボランティアで教えてもらったことをそのまま実践しても、うまく受け入れられない。各地域でのボランティアに関しても、もう少し支援してほしい。

(11) 住宅について

ご意見・ご要望内容
UR 賃貸住宅では、現在団塊世代を中心に、既に多くの人が居住しており、今後、家を保有していない人が居住する住まいが区内で見つからなくなるという不安を聞いている。団塊の世代の方が住み続けられる住宅の確保について、区営・都営住宅の整備を行うなど検討が必要である。

(12) 地域交通について

ご意見・ご要望内容
高齢化に伴い、高齢者の自動車運転が問題となっている。利便性の良い交通網を整備し、高齢者が区内で移動しやすい環境整備に努めて欲しい。

(13) 防災について

ご意見・ご要望内容
地震や津波が来た時に、水が押し寄せてくると思うが、対策はあるのか。
避難所で、災害時に区役所職員や自治会の災害協力隊メンバーなどの到着を待っていると混乱してしまうのではないか。避難所運営ボックスのようなものを作り、避難所に避難した住民が、すぐに避難所を設営・運営できるようにした方が良い。年1回避難所運営会議を開催しているため、議題として出して各地区の実情に合わせて物資を準備して、広報してほしい。運営会議も、見学型で実施し、何がどのように準備されているか仕組みを周知してほしいと思う。
電線の地中化の取組はどうなっているのか。

(14) 防犯について

ご意見・ご要望内容
自転車利用が便利な反面、盗難も増えている。江東区内の犯罪の中でも自転車盗難は多いと思われる。また、盗難された自転車が他の重要犯罪に使われることもあると思うので、重要犯罪防止の観点からも対策を検討いただきたい。